

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障
のある人やひきこもり
者などの多くがもっ
ている優れた感性と表

現力、そこから湧き出
る独創的なアート作
品に対して、NPO 法
人 障害者芸術推進
研究機構（天才アート
KYOTO）が独自にネー
ミングしたものです。
当機構は天才アートを
推進し、その啓発・
普及活動を積極的行
っています。



発行日 2024年12月20日（金）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226
京都市北区紫野西舟岡町2番地
ふれあい共生館「きたアトリエ」
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto

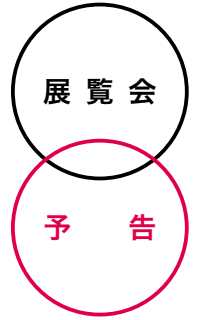
編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



足立美莉『無題 20231111-⑤』 画用紙・ペン、H383×W543mm、2023年制作



市役所本庁舎地下連絡通路での展示

京都市役所本庁舎地下連絡通路内の展示スペース約32m内に複製画やポスターパネル、当機構の紹介などの展示ができることとなりました。

今回の展示では、「京都市SDGs未来都市計画の推進」がテーマとなっており、障碍のある人の創造的制作用活動を支援してきた当機構としては、四条通り地下道で開催中の『公共空間にアートの彩り！』展と関係づけて展示します。



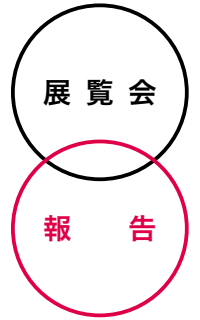
市役所本庁舎地下連絡通路

さまざまな人々のつながりを大事に、当機構の今までの取り組みと今後の予定を紹介します。

会期 2024年1月7日(火)午後～
2025年1月30日(木)

会場 御池通り地下、京都市役所本庁舎地下連絡通路約32m)

主催 NPO法人障害者芸術推進研究機構
協力 京都市行財政局総務部庁舎管理課



第12回天才アート展2024 新たな一歩に…

天才アート年間活動の集大成ともいえる『天才アート展2024』：登録作家45人・作品総数403点による展覧規模で、去る10月1日から14日の13日間にわたり、会場は6年ぶりとなる堀川御池ギャラリーにて、盛況裡に開催することができました。



感動空間になった展覧会場



ギャラリーツアーにも多くの参加者

NHK京都「京いちにち」や京都新聞等でも広くご紹介いただき、実に昨年の約3倍にもなる観客のみなさんがご来場くださいました。

「いずれの作品もその芸術性の高さとも独創性に感動した」「どの作品も色調がとて多明るく、観ていてとても癒される」など多くの感想をいただいたことにも、作家そしてスタッフともに励まされる思いでもありました。

また、アーティストとオーディエンスをつなぐ新たな取り組みでもあった各週末の「ギャラリーツアー」には、合計で40名を



さまざまなグッズラインナップも人気

超える方々が熱心に参加いただいたことにも、心からの感謝と確かな手応えを感じています。

会期 2024年10月1日(火)～14日(月・祝)
時間 11時～18時/7日(月) 休館

会場 堀川御池ギャラリー・京都市中京区油小路通御池押小路町238-1

入場無料

会期中、5日(土)、12日(土)には子どもを対象、6日(日)、13日(日)には大人を対象にしたギャラリーツアーを開催(各日ともに11時～と12時～の2回)。

先着15名(事前申込不要)

「想像力あふれるダイバーシティアート展」 高台寺利生堂にて開催!

2025年開催の大阪・関西万博にむけて「京都」からの文化発信事業である第2回「日本国際芸術祭」。その主催者より依頼を受け、天才アートKYOTOが企画主宰で「想像力あふれるダイバーシティアート展」を紅葉はじまる高台寺「利生堂」を舞台に、11月11日(月)から17(日)の7日間にわたり、開催いたしました。

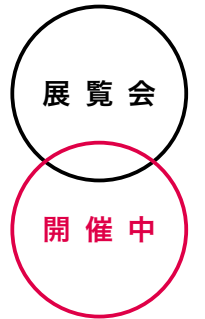


大涅槃図と対する天才アート作品群

「四神相応之図」WOてがけた高校生たち

登録作家から7人の平面・立体作品14点とともに、天才アートスタッフが巡回相談をしている白河総合支援学校の美術部員制作による大作「四神相応之図」も一緒に展覧。

利生堂の大涅槃図とともに親和するアート空間を創出：多くの外国人観光客の方々も含め、会期中には国内外約1500人のみなさんに、天才アートのめざましさを体感していただくことができました。



第8回『公共空間にアートの彩り!』展

今年度も、12月2日より来年1月末まで、当機構作家のB1判サイズ作品ポスター50点について、四条通り地下道中央柱に設置した展示が始まりました。

本展示は(公財)京都オムロン地域協力基金さまの助成により、毎年新しい作品ポスターを制作して加えた上で50点を選定し、阪急電鉄(株)さまと都市計画局歩くまち京都推進室さまのご協力により、展示させていただきます。



作品ポスターに目を止める修学旅行生たち



地下道中央柱に50点の作品ポスターを展示

殺風景になりがちな地下道ですが、当機構作家作品が並び、華やかに地下道が彩られ、行き交う人々にアートで明るい雰囲気や、新たな気づきを提供しています。

昨年度もこの展示を見て作品購入のお問い合わせを複数いただきました。今回、年末年始の1年で最も人出の多い時期と重なり、一層多くの方々の目に触れ、関心を寄せていただけることと思います。

会期 2024年12月2日(月)～
2025年1月30日(木)

会場 四条通地下道(麩屋町通下)柳馬場通下間約100m)

主催 NPO法人障害者芸術推進研究機構
協力 都市計画局歩くまち京都推進室・阪急電鉄(株)

助成 (公財)京都オムロン地域協力基金



『無題』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H250×W352mm、2024年制作

山川 隆晟

山川 隆晟 Yamakawa Takaaki 1992年生

山川は、色鉛筆を用いて実在の神社や寺、ビルなどの観光名所をスケッチブックに描き続けます。建物や植物は細部まで丁寧に描かれ、名称にはローマ字併記や最寄り駅の情報、時折建物の解説も書かれています。さながらガイドブックのようで、彼の絵を前にするとそこを訪れたいくなります。



『橘寺本堂観音堂』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H250×W352mm、2023年制作

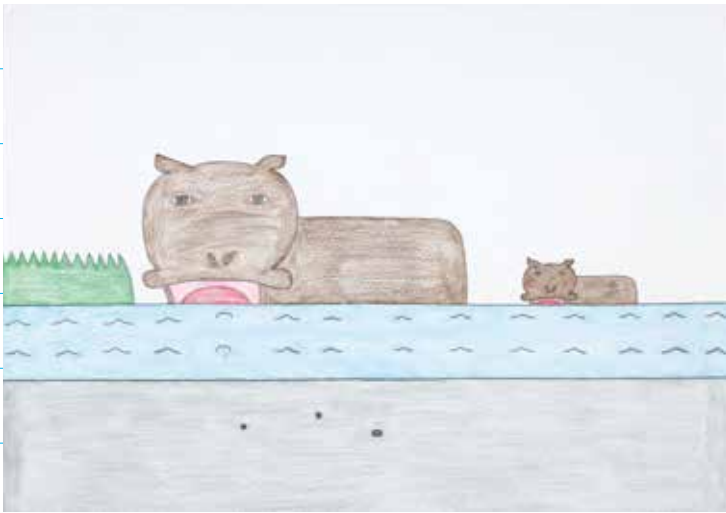


『ピラミッドザムーン』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H297×W423mm、2024年制作

RYUTA

RYUTA 1989年生まれ

RYUTAが描く動物たちや仏像、そして過去の名画は、「平面」に変換されます。彼の手にかかるとモチーフは正面か横を向けられ、奥行きを奪われ紙に張り付き、ユーモラスにデフォルメされてしまいます。鑑賞者はそのユーモラスなところに微笑んだ時、RYUTAが創り出した「平面の世界」へと引き込まれていくようで、そんなある種の独特の雰囲気も彼の作品の魅力の一つです。



『かばの親子』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H383×W543mm、2024年制作



『地藏菩薩像』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H420×W297mm、2024年制作



『増殖』セロハンテープ・クレパス、サイズ可変、2023年制作



『増殖』セロハンテープ・クレパス、サイズ可変、2023年制作

石原 寛子

石原 寛子 Ishihara Hiroko 1999年生

石原の作品を前にした時、多くの人の目にはただの「セロハンテープを丸めただけ」の集合体のように映るかもしれませんが。しかし、その制作過程を知ると大きく印象が変わります。彼女は自分自身の手の平から上腕部にテープを貼付け、それを丸めて、次々を合体させてゆきます。その所作を1年にもわたって続けます。色がついている箇所は、紙にクレパスを塗り付けた後、そこに手をこすりつけて彩色し、テープに色を転写します。彼女は、テープを引っ張るときの音、そのテープを腕に貼付けそこで丸めてゆく感触、その「行為を楽しんでいる」のです。作品はそうした所作の集合体であり結晶ともいえます。

ご家族さまより寄稿

「絵を描くことのよろこび」

いしいこうたの父
たかゆき

●初めての作品展示

こうたは自閉症スペクトラム。中学生の時には不登校、ひきこもりを経験。十数年前には統合失調症にもなりましたが、現在は就労支援B型の事業所で、病院施設のベッドや車椅子の洗浄作業に携わっています。

小学生のころから図画工作は好きでしたが、自宅で描くことはなく、当時は、特別な思いは無かったように思います。2013年頃から、学習ノートに自分の思ったことや、漫画のようなイラストを色鉛筆やクレパスで描くようになりました。その絵には写実的なものは一切なく、独自の感覚で人や動物が描かれていました。毎日、ものすごい勢いで描き、学習ノートは残っているものだけでも約800冊に及びます。その後、画用紙にも描き始めました。転機は、2018年、買い物先のイオンモール草津で行われていた「びかつtoアート展」を、たまたま目にしたことです。障害者が描いたさまざまな素敵な作品が展示されており、とても楽しく、これに共感したようでした。

来年は自分も応募してみたいと言い、翌年に展示していただきましたのが「喜びと悲しみ」という画用紙に描いた絵です。人は心の中に喜びと悲しみの両方を持ち、あふれる感情の中で生きていくという、心模様を表現したものでした。初めて多



初めて展示された『喜びと悲しみ』

くの人に見ていただき作品に対する暖かいコメントもいただきました。本人にとつて、とても素敵な体験でした。

●絵を描くことで生まれた自信

こうたは、とても心配性で、自分がどんな人なのかを、いつもに気にかけていました。自分の良さを見つけたくて、人から褒められると、忘れないように「褒められ帳」に書きとめるということもしています。ある日、こうたは、「自分は牛に似てる？もし似てたらうれしい」と言っていました。牛には、まつすぐで、素直で、朗らかなイメージがあるようでした。まつすぐで朗らかな牛に、ユーモアが備わつたらさらに理想的、と自分自信になぞらえて牛を描いたのだと思います。「さかだちする牛」は、翌年の同展示会で大賞をいただきました。障害があり、勉強もスポーツもあまり得意ではなかったし、引きこもった過去もある。行動範囲が狭く、知り合いが少ないこ

ともあり、家族以外から褒められることが少なく、自分に自信がもてなかったと思いますが、人にはない自分の良さを、はつきりと認識することができ、絵を描くことで何が開けたようでした。

●思いっきり絵が描ける天才アート

そんな時、たまたま京都新聞で見かけて「天才アート展 オープンスタジオ」を知り、親子で出かけてみました。そこには、さまざまな特長が溢れる優秀な作品が置かれていました。独自の絵や立体作品が置かれていました。こうたが自分もここで描きたいと希望したので、お願いして登録していただきました。とても有難いことでした。行動範囲が広がり、新しい経験ができる。月に2回はキャンパスに思いっきり絵が描ける。帰りには親子で寄り道をしたり、外食をすることができています。

こうたは、写実的な絵は一切描かず、不



大賞をもらった『さかだちする牛』とこうた

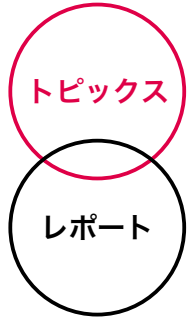


こうたと『イタリアのギター弾き』

思議な絵が多いです(写実的な絵は描いても滅茶苦茶、下手です)。最終の完成型のイメージをはつきりとは持たずに、まずは描き始める。描きながら、途中のその時々々の絵の見え方に反応して、上から描き足していく、どんどん塗っていくといった感じですか。一枚の絵も描いてるうちにどんどん変わっていくんです。自分でもどんな絵になるのか、最後までわからないことが多いようです。せつかく良い感じに描けていた絵が、上から塗りつぶされて跡形も無く別の絵になってしまうこともよくあります。それでも、躊躇なくどんどん描きます。

家の中でも描きます。残念ながら、こうした部屋の机や絨毯はいつも絵具だらけ洗面所やお風呂場も、時々絵具を洗った跡が残っています。私たちが親は「きれいに掃除をしないさい！」と小言を言いながらも、こうたが元気に絵を描いて、面白い作品を見せてくれることに、小さな喜びを感じています。

天才アートの関係者の皆さまには心から感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いたします。



「ゴトノムスビ」プロジェクト に今年も参加しました

京都市内の「宿泊施設」と京都の匠の技（伝統工芸・京都産食材・SDGs商品・アートなど）をむすぶプロジェクト「ゴトノムスビ」。昨年に続き今年も9月24日（火）・25日（水）、京都伝統産業ミュージアムでのビジネスマッチングに32社・団体のひとつとしてブース出展いたしました。

2日間で施設・観光関連施設関係等約120人の来場者。宿泊空間にあらたなアートの彩りを加える可能性として、作品購入のみならずレンタルでの活用についても、広くPRいたしました。

旅を愉しむ方々にも天才アートとの一期一会の結（むすび）を感じてもらえるよう、これからも活動の一翼としていきます。



原画も展覧…さまざまな出会いの場に



三津田一輝氏の「風神・雷神」と一緒に写真におさまる稲田教育長

京都市教育長執務室に 作品原画を展示

京都市教育長稲田新吾さまにはかねてより、当機構を応援いただいております。去る9月12日（木）、教育長執務室に当機構作家、三津田一輝さんの「風神」「雷神」の作品原画を展示させていただきました。今後約1年間、同室で展示予定です。教育長室へ来訪の皆さま方の目に留まり、当機構についてより一層関心を持っていただけることを期待しています。

青空美術館第18号 「京都市立呉竹総合支援学校」

工事現場の仮囲いに天才アートKYOTO所属作家の作品を飾る、「青空美術館」第18号として京都市立呉竹総合支援学校プ

ロジエクトが、10月31日からスタートしています。

京都市立呉竹総合支援学校には、第13号プロジェクトとして、2021年12月1日から2024年6月まで校舎建替工事の仮囲いに青空美術館を実施していましたが、今回はその第2弾となります。作品パネルは4点と少ないですが、4点全て同校の卒業生の作品です。

会期：2024年10月31日（木）～未定

会場：京都市立呉竹総合支援学校

校舎新築工事現場 囲い塀

設営協力：津田・寺村特定建設工事共同企業体



第16号京都中央信用金庫三条支店建替工事 第17号旧府立総合資料館解体工事 の両プロジェクトも継続展示中!!

現在、市内では京都市立呉竹総合支援学校を含め3つのプロジェクトを展示しています。お近くにお越しの際は、是非ともご高覧ください。



革新の分岐点
muratec

これまでの技術でつくるか、
これからの技術をつくるか。

村田機械株式会社

本社/京都市伏見区竹田向代町136
<https://www.muratec.jp>

- ▶ロジスティクスシステム
- ▶ファクトリーオートメーション
- ▶半導体工場FAシステム
- ▶繊維機械
- ▶工作機械
- ▶シートメタル加工機
- ▶デジタル複合機/情報機器
- ▶生産管理システム

国立京都国際会館さまの スモールギフトに採用

本年5月に国立京都国際会館さまがきたアトリエを見学され、お客さまへのご挨拶やお礼、また来館のお客さまへの記念品としてお渡しされるGive Away（スモールギフト）の一つである宇治茶のティーパックのパッケージに、当機構作家の作品4点のアーカイブデータをご採用いただけることになりました。

今回採用されたのは、大場多知子さん「Flowers」、高橋美佳さん「再会」、水玉みりさん「友達の顔」、nemuroさん「ほっと」の4作品です。5月以降、数度のデザイン制作検討を経て、7月にはサンプルが出来上がり、8月にはティーパックが完成しました。ギフトは大変好評で、現在は欠品している状態だそうです。

最近では、アーカイブデータの活用を問い合わせいただく機会が増えました。こういった事例を参考に、今後もアーカイブデータの活用促進に努力していきたいと思っています。



大場多知子さん（左）と高橋美佳さん（右）



水玉みりさん（左）とnemuroさん（右）

企業・団体の助成、協賛の募集

NPO法人として2011年の活動開始以来、登録作家は15人から45人（24年12月末現在）と大幅に増え、『天才アート展』や『青空美術館』などの各種展示事業、作品収蔵と作品アーカイブ事業、『会報』発行やHP配信などの広報事業など幅広く取り組んでいます。

当機構の運営予算の多くは、企業さまや団体さまの協賛金や助成金などによって支えられています。展示や協働事業などのオフアワーが年々増えてきており、画材費の高騰などとともに資金の確保が常に課題となっています。さらに多くの企業などのご助成やご協賛の支援をお願い申し上げます。

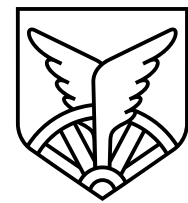
【特別協賛などの企業さま・団体さま】

- 株式会社 SCREENホールディングスさま
- 一般財団法人 NISSHA財団さま
- 株式会社村田製作所さま・村田機械株式会社さま
- 株式会社堀場製作所さま・洛和会ヘルスケアシステムさま・京都中部総合医療センター看護専門学校さま（順不同）

＜編集後記＞

本年秋は、「天才アート展2024」と「想像力あふれるダイバーシティアート展」とが立て続けに開催され、作家の皆さまやスタッフも今までにない忙しさを味わいました。おかげさまで両展とも多くの市民や観光客にご高覧いただき、天才アートKYOTOの實力が認知されつつあることを実感しました。来たる2025年は、大阪関西万博の開催もあり、今まで以上に多くの海外からのお客様が来日されます。そういった皆さまにも天才アートKYOTOに触れていただける機会を増やしていきたいと思っております。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

HAGURUMA



【表紙の作品について】

足立のドロイングは鮮やかな色彩で、渦巻きは幾重にも重なった「花丸マーク」や「花火」のようにも、あるいは「花」のようにも見えます。10代まではタイル様に絵の具で配色するように描いていましたが、2013年よりペンで渦巻き状に描く作風に変化し、その後渦巻きが1つから2つ3つと増えて10個までに増え、作品は鮮やかなタイル様に色塗られた背景の上に描くこともあります。鑑賞者がどのような解釈をする場合でも、おのずとダイナミックに描く足立の身体性が浮かび上がります。



足立茉莉『無題 20231111-⑤』画用紙・ペン、H383xW543mm、2023年制作

画材・額縁
画笈堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします
総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ
☎ 075-353-2522

京都上鳥羽の印刷会社
MORITA
(有)森田美術印刷
京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131

妙心寺 塔頭
養徳院
永代供養のお寺 075-461-2898

Yo Shima
吉村建設工業(株)
京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

SCREEN
一般財団法人
NISSHA財団

いのちを見つめ、人間を支える。

RKW
洛和会
ヘルスケアシステム®